R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY30-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#E07

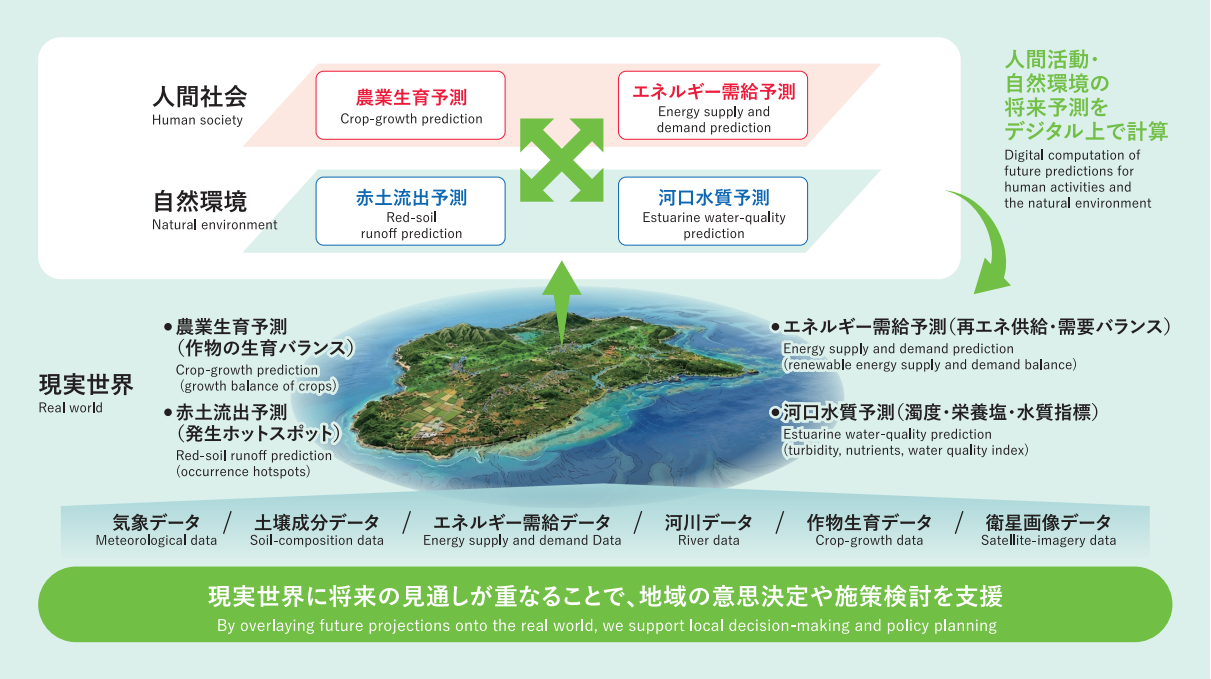
#地方創生#気候変動適応#自然との共生

地域社会未来予測技術で自立した島の姿を予測

島嶼部のさまざまなデータを活用し、食やエネルギーの地域課題解決策の効果を精緻に予測します

技術課題・ゴール

島嶼部など地域特有の課題の解決策の検討には、実施時の効果や島への影響を予測し分析することが必要です。それには地域社会の農業やエネルギー、自然環境など個々のモデルによる予測ではなく、それらの相互影響を加味した地域社会全体のモデルが必要です。島の特徴を、それらモデルを組み合せ連携動作させて計算することで、従来では困難だった地域社会全体を再現した予測を実現し、地域の意思決定や施策検討を支援します。



技術ポイント

要素技術

・場所ごとの土壌や水文など地域特徴を反映した予測を実現
・農業や河川、エネルギーなど複数モデルを連携動作させる技術で地域社会全体の予測を実現

市中技術差異点

・従来の個別分野ごとの予測と異なり、農業やエネルギー需給の変化による影響を分野横断で地域社会全体まで予測可能です

適用ビジネス/ユースケース

エネルギー

計測データ、衛星データ、統計データなどの地域データを活用して現実世界を再現し、本技術が予測する将来シナリオを重ね合わせることで、地域全体を包括的に把握できます。これにより、自治体や事業者が地域課題を多角的に分析し、エビデンスに基づく意思決定や施策立案を効果的に進めることを支援します。

出展組織

NTT株式会社 宇宙環境エネルギー研究所